

信頼と誇りと

恵み野病院だより



2013年6月26日 第21号

ごあいさつ

院長 貝嶋 光信

皆さんこんにちは。6月に入り暖かい、時には暑いくらいの日が続き、初夏の彩りが街のあちこちに漂ってきましたね。今年は寒い春でしたが、気象庁の長期予報では夏は猛暑が予想されているとのこと。これからの季節、体調管理に皆さん気を付けて下さい。

さて、今回の恵み野病院便りの中で取り上げていますが、当院の皮膚科外来の診療曜日が変更になります。長年当院の皮膚科外来は水曜日と土曜日で開催していましたが、7月からは木曜日と土曜日の診療に変更されます(下段をご参照ください)。しばらくはご不自由を掛けると思いますが、どうかご容赦頂きますよう、そしてこれからもどうぞご利用頂きますようお願い申し上げます。

当、恵み野病院は昭和61年(1986年)5月1日にこの地に開院し、今年で27年を経過し、28年目を迎えました。これからも地域の方々に信頼され、愛される病院を目指して職員一同努力する所存ですので何卒お引き立てのほどお願い致します。(2013/6/20記)

皮膚科外来 診療体制変更のご案内

皮膚科外来の医師派遣大学変更に伴い、下記の通り診療日を変更させていただきます。お間違いの無いようお願い申し上げます。

変更日

7月1日(月曜日)より

変更内容

診療日		医師派遣大学
水曜日	第1・3 土曜日	旭川医科大学



診療日		医師派遣大学
木曜日	第1・3 土曜日	北海道大学

※なお、受付・予約・診療時間に変更はございません。

病院敷地内禁煙のお知らせ

平成20年7月1日より、当院の病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



診療科の紹介(外科)

外科部長 中村 貴久



1. 診療の基本方針

- ・当科は、恵庭・千歳・北広島地区の中核病院の一般外科として、地域に密着した親身で迅速な診療対応を心掛けています。
- ・手術を治療の核としますが、化学療法や救急対応、緩和ケア、NSTなどについても精力的に取り組んでいます。
- ・治療に関しては、国内各学会・研究会などで編集された診療ガイドラインに沿い、日本国内での標準的な治療方針に基づいて診療を行っています。
- ・胆石症や胃・大腸の早期癌を中心に鏡視下手術を取り入れ、低侵襲で患者さんの身体への負担が少ない手術を行っています。
- ・医師・看護師・MSW・理学療法士・栄養士らによる合同カンファレンスを毎週行い、多職種間で広く意見を交換しながら、最善の治療が行えるよう日々努力しています。
- ・学会・研究会には積極的に参加し、最新の医学知識・技術の取得を心掛けています。
- ・当科は北海道大学第1外科の関連病院であり、同科及びその関連病院間の連携により、より高度な治療を必要とする症例への対応も可能です。

2. 対象疾患・診療実績

扱う疾患は、消化器疾患を中心に、甲状腺・乳腺・呼吸器・そけいヘルニアなどの診断・治療を主たる業務として行っています。

2012年の主な疾患別手術数（2012年1月～12月を対象）

胃癌28例、結腸癌37例、直腸癌14例、肝臓癌（転移性肝癌を含む）7例、胆管・胆嚢癌5例、膵臓癌4例、甲状腺癌2例、乳癌9例、肺癌（転移性肺癌を含む）3例、胆石・胆嚢炎51例、急性虫垂炎44例、鼠径ヘルニア58例、自然気胸7例。全身麻酔手術は全部で327例。

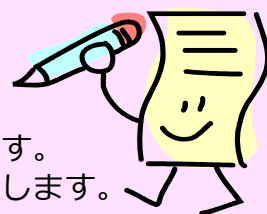


外来化学療法は、1週間で15人から20人ほどに行っています。
(外科のみの数。内服のみの化学療法は除く)
昨年度、外来化学療法室が新しくなって10床に増床となり、より快適な環境で患者さんが抗癌剤治療を受けることができるようになりました。リクライニング・チェアが8台とベッドが2台導入され、好きな方を選択できるようにしていますが、リクライニング・チェアの座り心地・寝心地が予想以上に良いと評判です。

特定疾患医療受給者証更新手続きのお知らせ

7月1日（月）より特定疾患医療受給者証の更新手続きを開始しております。

9月末までに更新手続きが終了していない場合は「新規申請の取扱い」となります。手続き上、ご面倒をお掛けする事になりますので、お早めの手続きをお願い致します。



なお、病院でお渡しするのは、「臨床調査個人票」のみになります。その他必要な書類等は、前回更新時または新規取得時に保健所から特定疾患受給者証と一緒にお渡しされております。なくされた場合等は管轄の保健所までお問い合わせ願います。保健所より書類が送られていない場合には、保健所までお問い合わせ下さい。

